

平成29年度 第1回大阪府立吹田高等学校学校協議会 記録

- 日 時 平成29年6月22日(木)午後7時～午後8時40分
- 場 所 大阪府立吹田高等学校 会議室(本館2F)
- テーマ 平成29年度学校経営計画について
- 出席者(敬称略、委員は50音順)
 - 会長 白井 孝雄(大阪薫英女学院中学校・高等学校校長)
 - 委員 上田 裕彦(吹田市立第二中学校校長)
 - 川辺 浩一(本校後援会会長)
 - 西條 裕之(本校PTA会長)
 - 辻 良夫(藤が丘上自治会会長)
 - 土井 実 (同窓会・鳳志会副会長)
 - 校長 眞鍋 眞
- 事務局
 - 手島 肇(教頭)、井上 薫(事務長)、磯原 健志(首席)、門野 正太(首席)

■委員から出された主な意見等

【平成29年度学校経営計画について】

- 車で吹田高校の生徒を見かけるが、昨年度に気になったスカートの長さは気にならなくなったが、最近は口紅の色が少し気になるようになった。
- 計画段階の数値の記載方法については、件数で記載しているものについては生徒数の変動に応じて影響を受けるため、例えば100人に対してとするなど、生徒数の変動に影響されない表記にして、評価しやすくしていただきたい。
- 家庭学習についての課題の量や働きかけは難しいが、勉強方法を教えることが大事。ミニテスト等の実施で、先生が採点するのではなく生徒同士で採点することで反復学習の効果も期待できるのでは。
- 進学先等の近年における上昇傾向については喜んでいる。進学クラスについてクラス数の増加が望ましく、そのための早い段階から意識を持たせる事が大事。
2年生になる段階で成績順に進学クラスを編成するなど、切磋琢磨できる環境づくりで全体がより良い方向に進むよう、校内で慎重な検討をしていただきたい。
- 新学習要領での英語重視の方向、中学の生徒数の大幅な減少をはじめ、この先かなり状況の変化が出てくる。4～5年先の話だが、これらの大きな状況の変化を踏まえていただき、今後も取組を進めていただきたい。